

【例2】手の洗い方を見直そう

テーマ	手の洗い方を見直そう
目標	それぞれの児童が、新型コロナウイルス COVID-19 をはじめとした感染症を予防するために、適切な手洗いの方法を理解し、実践することができる。
効果的な指導の工夫	1. 児童が自分の手洗いが適切であるかどうかを理解するために、薄めたデンプン糊(Watery Starch Past)とヨウ素液(Watery Iodine Solution)を用いた簡単な実験を行う。

授業準備	薄いデンプン糊(Watery Starch Past)と薄いヨウ素液(Watery Iodine Solution) 児童の手洗いの実態に関するアンケート 個人の目標カード
------	--

時間(分)	ステップ	教師の活動	児童の活動
3	1. つかむ	・アンケートの集計結果をもとに児童の手洗いの実態を示す。	・自分の問題として理解する。
22	2. さぐる	1. 「どうやって手洗いをするのがいいだろうか」 2. 「本当にその洗い方できれいになるか実験してみよう。」 【実験】(下欄参照) 3. 個人カードを配布し、観察した結果を記入させる。	〔話し合い〕 ・実験で、青紫色に変色した部分がないか、あるとしたらどこかを探る。(青紫色になった部分がよく洗えていない部分であることを理解する。) ・よく洗えていない部分をよく観察し、個人カードに記録する。
15	3. 見つける	1. 「どんなことに気をつけて洗えばいいだろうか」 2. 「実際に洗ってみよう」 【演習】	〔話し合い〕 ・青紫色に染まった部分を観察しながら話し合う。 ・話し合った結果をもとにして、青紫色に染まった部分の色を落とすように手を洗う。(※これが、自分に合った手の洗い方である。ここでは石鹸を使うのも可)
5	4. 決める	【個人目標】 - 個人カードに、今後どんな洗い方をするか記入させる。	・個人カードに記入し、個人目標を発表し合う。

事後指導	1. 新型コロナウイルス COVID-19 や風邪を予防するためには継続的な手洗い実践が必要であるので、実施期間が終わった後も、日々の生活で、常に児童に注意を喚起する。 2. せっかく適切に手を洗っても、濡れた手を洋服や汚れた布で拭いては効果が薄れるので、きれいなハンカチを身につける指導につなげる。
------	---